



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9条地球憲章の会 第21回公開研究会

中野 昌宏さんの講演

カナダで考えた憲法と九条

—H・ノーマン研究と在住邦人との交流から—



中野 昌宏 (なかの まさひろ)

本会呼びかけ人。青山学院大学総合文化政策学部教授。社会思想史・社会理論・社会哲学研究。

H・ノーマン研究のため、2016年～2017年にカナダのプリティッシュ・コロンビア大学に客員教授として赴任。
(関連論文)

「日本国憲法思想とその淵源：憲法研究会の『人権』と幣原喜重郎の『平和』」

「E・H・ノーマン＝鈴木安蔵の戦後初会談：その意義と事実関係について」

(著書)

『貨幣と精神——生成する構造の謎』ナカニシヤ出版、2006年)

1月11日(月) 6時～8時30分
オンラインで実施します。

参加をご希望の方は、2021年1月10日(日) 23時59分までに、下記の申込フォームに必要事項を入力してください。

<https://kokucheese.com/event/index/606598/>

申込フォームが使用できない場合に限り、件名に「1月11日研究会参加」、本文に氏名・メールアドレスを明記し、メールでお申込みください。メールアドレスは、本チラシの下部に記載されています。

1月11日(月) 14時までに、お申し込み済みの方に Zoom 接続に関するお知らせをメールでお送りします。

菅政権の無為無策でいよいよコロナ感染拡大が深刻の度を深めています。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

第21回の公開研究会のお知らせです。

講師には、中野昌宏さん(本会呼びかけ人。青山学院大学教授)をお迎えし、先年のカナダでの研究体験を踏まえた、在留日本人九条の会の活動や、日本国憲法の制定過程にも関わったE・H・ノーマンに関する研究成果などについて講演をお願いしました。

カナダ人のノーマンは日本生まれのすぐれた歴史家・外交官で、第二次大戦後、カナダ外務省からGHQ(連合国軍総司令部)に出向し、占領下の日本の民主化・改革に携わり、憲法制定にも関わりました。後に、冷戦下の狂信的なマッカーシズムの嵐に巻き込まれ、1957年に任地カイロで悲劇的な自死を遂げたことでも知られています。